

学ぶ子
励む子
元気な子

東つるやま



学校だより

備前市立東鶴山小学校
令和8年7月8日 第9号

「見て、見て!」子どもたちが周囲の大人によく発する言葉です。先日、1・2年生の教室の前を通ったら、「見て、見て。赤いアサガオの花が一つ咲いたよ。」と声をかけてくれました。「絵が完成したよ。」「カナヘビをつかまえたよ。」などと子どもたちにとってうれしいことや満足したことがあると、思わず「見て、見て!」となります。「今日、学校でね・・・」と学校での出来事をうれしそうに話し始めることもあるでしょう。これは「聞いて、聞いて!」でしょうか。これらの言葉の裏には、子どもたちの承認欲求がはたらいっているものと思われます。子どもたちに限らず、人は誰もが周囲から認められたいという願いをもっています。自分の出来事を周囲に伝え、一緒に喜んでもらったり、時には一緒に悲しんでももらったりして、共感を得ることによって、自分が周囲に認められていると実感します。だから、子どもたちが「見て、見て!」「聞いて、聞いて!」と言ってきたら、私たちは一心に子どもたちの言葉に耳を傾け、共感することが大切です。自己承認された子どもたちは心が安定し、自己肯定感が高まります。そして自信をもって、いろいろなことに挑戦し、すくすくと成長していきます。人間誰もがもっている周囲から認められたいという願いを互いに満たし合う、温かい学校や集団をつくっていききたいと思います。



世界に一つだけの「自分」の備前焼を作りました!

毎年恒例の、備前焼体験を行いました。今年も屋代剛右先生に来ていただき、ご指導をいただきながら、事前に子どもたちが考えておいた形をめざして、粘土に向き合っていました。学年に応じて粘土の量が異なりますが、低学年でも一人500gの粘土を使って、一つの作品を作ります。練ったり、たたいたり、なかなかの力仕事ですが、子どもたちは自分の作りたいものを一生懸命に作っていました。子どもたちの作った作品は、玄関前で展示し、乾かしました。この後、焼いていただいて、「岡山県子ども備前焼作品展」や「東鶴山文化祭」に出品します。できあがりがとても楽しみです。



がんばっています!委員会活動

5・6年生が中心となって委員会活動を行っています。6日(月)には、1学期のまとめということで、児童朝会の時に、それぞれの委員会での日ごろの活動の様子を発表しました。

〈放送委員会〉

お昼の校内放送のイントロクイズについての話や2学期からがんばりたいことを伝えました。



〈健康委員会〉

保健室の「住人」の紹介や手洗いが大切なことを、劇風にしてみました。



〈図書委員会〉

1学期にがんばったことを発表したり、夏休みに向けて読書のよびかけをしました。



〈運営委員会〉

代表委員会で決まったことを伝え、2学期の全校遊びについて予告をしました。

